

1. 件名：福島第一原子力発電所2号機原子炉格納容器内部調査の準備状況に係る  
面談

2. 日時：令和2年12月23日（水）10時00分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、高木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当2名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、2号機原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内部調査の準備状況について、資料に基づき以下の説明があった。

➤ 2号機PCV内部調査装置の概要及び開発状況

✓ 内部調査装置のロボットアームは、英国で開発を進めており、現在、ロボットアームをエンクロージャに組み込み、動作確認を実施中。

➤ 工程

✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ロボットアームの開発工程が遅延しており、2021年1月に予定していた英国から日本への輸送が困難な状況。

✓ 今後、英国での工程を切り上げて、性能確認試験等については日本で実施することにより、開発工程の遅延を1年程度にとどめたい。

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、引き続き、今後の進捗状況について適宜報告することを求めた。

6. その他

資料：

➤ 2号機 PCV内部調査の準備状況